

(別紙)

平成 27 年度野生動植物への放射線影響調査研究報告会
プログラム (予定)

日時 : 平成 28 年 2 月 19 日 (金) 10:30~16:00

場所 : レンタルホール綿商会館 5 階会議室

開会の挨拶/招聘者の紹介	10 : 30~10 : 40
1 櫻又涼子(環境省自然環境局自然環境計画課)	10 : 40~11 : 00
「野生動植物への放射線影響調査」	
2 溝口俊夫、大町仁志(福島県環境創造センター研究部)	11 : 00~11 : 20
「福島県内に生息する野生鳥獣の放射性セシウム濃度について」	
3 難波謙二(福島大学環境放射能研究所)	11 : 20~11 : 40
「福島大学環境放射能研究所の放射生態学研究」	
4 玉置雅紀(国立環境研究所)	11 : 40~12 : 00
「福島県における低線量放射線及び住民避難による野生生物への影響調査」	
〈昼休み〉	12 : 00~13 : 00
5 久保田善久(放射線医学総合研究所)	13 : 00~13 : 20
「福島で捕獲した野ネズミの染色体異常調査」	
6 山本 裕(日本野鳥の会)	13 : 20~13 : 40
「ツバメとカラ類への放射性物質の影響調査」	
7 松本陽(東京海洋大学海洋環境学科)	13 : 40~14 : 00
「福島第一原発事故後に放射性セシウム濃度の低下が遅い魚種とその要因」	
8 Vasyi Yoschenko(福島大学環境放射能研究所)	14 : 00~14 : 20
「アカマツにおける形態学的変化~2014 年から 2015 年の観察結果より~」	
〈休 憩〉	14 : 20~14 : 40
9 五味高志(東京農工大学農学研究院)	14 : 40~15 : 00
「捕食-被食関係における餌資源寄与率を用いた ¹³⁷ Cs 移行係数の適用 -イワナを事例として-	
10 金子信博(横浜国立大学)	15 : 00~15 : 20
「放射性セシウムによる土壌生物の汚染状況 - 2011 年と 2015 年の比較」	
11 川口勇生(放射線医学総合研究所)	15 : 20~15 : 40
「ヒト以外の生物の放射線防護における線量評価の枠組み」	
全体質疑応答	15 : 40~15 : 50